

## 食道表在がんおよび早期胃がんの自然史に関する調査

### 1. 研究の対象

2005年1月から2015年12月の間に食道がんもしくは胃がんと診断され、診断後6ヵ月以内に治療が行なわれていない方。

### 2. 研究目的・方法

目的：現在、消化器がんに対する内視鏡治療が普及しておりますが、高齢者の方に対する治療方針を決定する上で、消化器がんの自然史(治療せず経過観察した場合の発育や伸展の様子)を知ることは重要です。内視鏡治療は臓器を温存しつつがんを治療することができる方法で、治療後に機能障害(食事摂取の制限や排便異常など)が残ることは基本的にはありません。一方で、内視鏡治療のための入院自体により、認知症の進行や体力の低下を招くことも懸念されています。自然史を知ることで高齢者の方に対し、より適切な治療選択肢を提示できると考えられます。

これまで食道および胃の早期がんから進行がんへの発育進展を論じた報告は散見されるものの、初回病変から詳細に観察したうえでの報告は少ないです。食道表在がんおよび早期胃がんの自然史を明らかにするために、調査したいと考えます。

方法：院内がん登録されている、2005年1月から2015年12月の間に病理検査で食道がんもしくは胃がんと診断され、診断後6ヵ月以内に治療介入がない方を抽出します。その中から初回を含め2回以上の内視鏡検査歴があり、初回と2回目の内視鏡検査が半年以上あいている方を対象とし、がんの進行程度を評価します。診断時のご年齢・性別・PS(全身状態の指標の一つ)・背景疾患(心血管疾患、脳血管障害、慢性腎障害、糖尿病、高血圧など)・病変部位・腫瘍径・肉眼型・組織型・内視鏡的深達度につき、後方視的に検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、カルテ番号、内視鏡画像 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化管内科 石原 立／岩上 裕吉

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1900

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化管内科 石原 立

以上